

発信日:2006年6月19日

枚数:3枚

プレス・リリース
報道関係者様各位

control arms

1000 KILLED EVERY DAY

2001年 国連小型武器行動計画 採択

2003年 第一回中間会合

2005年 第二回中間会合

2006年6月26日—7月7日 履行検討会議

今回のような小型武器の世界会議が次に開かれるのは、おそらく5、6年後。

次のワールドカップよりも先のことです。

小型武器によって奪われる、一日平均約1000人の命。

さらに多くの負傷者、苦しみ、恐怖、経済的損失、信頼関係の崩壊。

履行検討会議開催中だけで約1万人。

5年で約180万人。

事実上の大量破壊兵器、小型武器。

時間は、刻一刻と過ぎていきます。

このまま180万人の命が失われる前に、各国政府は行動を！



履行検討会議とは

来週からニューヨークの国連本部で開催される履行検討会議は、2001年の国連小型武器行動計画の履行状況を検討し、今後の行動の方向性を決めるための会議です。2001年からの5年間、小型武器のもたらす被害や、必要とされている政策について、多くの議論がなされてきました。2001年の行動計画のなかで履行されていない部分、欠けている部分、詳細化が必要な部分について取り組むことは、行動計画の履行のためにも、そして小型武器の被害をなくすためにも重要です。

履行検討会議の議長となったスリランカのカリヤワサム大使は、履行検討会議の進行について、そして履行検討会議で合意されるべき成果文書について、政府間の協議を行い、議長案を提示してきました。しかし、5月18日に作成された成果文書案には不十分な点や不明確な点がいまだ多く、更なる検討が必要とされています。

2001年行動計画、最大の弱点＝国際的な移転

行動計画のセクションⅡのパラグラフ11には、参加国は国家レベルにおいて「全ての小型武器を対象とし、国際法の下において存在する国家の責任と整合的で厳格な国内規則・手続きに基づき、輸出許可申請書に関し、これらの武器が非合法取引に迂回する危険があることをとりわけ考慮に入れて、評価を行う」ことが明記されています。しかし、行動計画においては、「国際法の下に存在する国家の責任」とは、どのようなものであり、そしてそのような責任と整合的で厳格な国内規則・手続きに基づいた輸出許可申請書の評価とは、どのようなものなのか、については具体的に明示されていません。このことによって、行動計画の履行ができなくなる国もあります。また、「国際法の下に存在する国家の責任」の解釈が違うために、たとえある国に対する小型武器の輸出をA国が許可しなくても、代わりにB国が許可してしまう、という問題が生まれます。履行検討会議では、行動計画に示された内容を具体的に明確化し、行動計画を各国が実際に「行動」に移すことを可能にする必要があります。

「コントロール・アームズ」キャンペーンは、既存の国際法に基づいた武器移転の原則を提案してきました。これらの原則は、これまで少なくとも45カ国による公式な支持を得ている武器貿易条約(Arms Trade Treaty: ATT)の基礎となる原則です。ATTは、武器の移転に関して、国際法の下において既に存在する各国政府の義務を結晶化させ、明確にするためのものです。ATT締結への取り組みの対象は、小型武器だけでなく重兵器も含めた通常兵器全般ですが、このATTが基礎とする原則は、行動計画に示された内容を具体的に明確化するためにも必要とされています。

「この国で犯罪に使われる銃のほとんどは、もともとは合法に売られていた銃だ。」



**スティーブ・スティール、アメリカ合衆国
(アメリカ合衆国連邦政府財務省アルコール・
たばこ・銃器取締局)**

control arms

「コントロール・アームズ」キャンペーン

現在、世界中で多くの通常兵器が出回り、不正使用によって多くの人々の命が奪われ、人権が侵害され、生活が脅かされています。2003年10月に開始された国際的な「コントロール・アームズ」キャンペーンは、そのような被害に歯止めをかけるべく、様々なレベルでの取り組みを求めています。日本でも2004年以降、NGO5団体により日本キャンペーンが展開されています。オックスファム・ジャパンは、この日本キャンペーンのなかで研究や政策提言などを主に担っています。

ミリオンフェイス 「ミリオン・フェイス」顔署名

「コントロール・アームズ」キャンペーンでは、通常兵器の移転を規制する武器貿易条約(Arms Trade Treaty: ATT)を求める世界の市民の声を強く示すために、参加者の顔が見え、一人一人の思いを伝える新しい署名活動の試みとして、顔写真や似顔絵で署名する「ミリオン・フェイス」という顔署名を行っています。

国際キャンペーン全体では、今回の履行検討会議までに世界各国から100万人分の顔署名を集めています。会議場に向けて世界の市民の声を視覚的に示すように、さまざまなイベントを行います。コフィ・アナン国連事務総長への顔署名提出式は、会議初日26日の午前中です。タイムズ・スクエア近くでのコンサート等もあります。お見逃しなく！



ご連絡・お問い合わせ先

特定非営利活動法人 オックスファム・ジャパン
担当: 夏木碧 (ポリシー・オフィサー)
〒110-0015 東京都台東区東上野 1-20-6 丸幸ビル 2階
Tel: 03-3834-1556 Fax: 03-3834-1025
E-mail: midori@oxfam.jp

ニューヨークでのご連絡(現地時間6月25日朝-7月7日夜)

夏木碧 (ポリシー・オフィサー)
携帯電話: (+1) 646-512-3403
E-mail: midori@oxfam.jp

履行検討会議 簡単情報パック、ご用意しています

オックスファム・ジャパンのウェブサイト www.oxfam.jp から無料でダウンロードいただけます。